



DATE. 2010.1.11

●● 様へ

△△ちゃんの検査結果ご報告

△△ ちゃんの検査結果について、ご報告させていただきます。

検査で認められた異常な点および問題点

1. 嘔吐、吐血→下行十二指腸に異物像あり
2. 脱水、CRP上昇、GPT上昇、Amy上昇→異物に関連していると思う
3. 尿比重の低下→前日に点滴をしているため
4. 気管狭小化
5. 多数の椎体奇形

コメント

△△ちゃんの検査結果ですが、嘔吐の原因は腸管閉塞にあると思われます。腸閉塞の原因は異物が腸管につまった、腸管の腫瘍、炎症性腸疾患などがあげられますが、嘔吐物にコングが混じっていたことから一番は異物が疑われます。△△ちゃんの場合、閉塞（嘔吐）が起こってから数日たっている、脱水していることもあり早期の開腹手術による閉塞部分の確認、摘出が望ましいでしょう。

気管がやや狭いですが短頭種では狭い傾向にあるため△△ちゃんも短頭種由来のものと考えます。特に夏場は熱中症など呼吸器症状には気をつけましょう。

胸椎～腰椎にわたり多数の椎体の奇形が認められます。これは短頭種に多く認められるものですが、無理をすると不安定性から脊髄へのダメージが生じたり椎間板ヘルニアなどになるので激しい運動は避けましょう。

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

京都中央動物病院  
院長 村田 裕史  
〒600-8357

京都市下京区五条通柿本町582-3  
電話&FAX 075-821-1020

E-mail : info@kyotochuoah.com

URL :http://kyotochuoah.com

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：